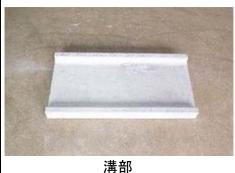
■工法概要

屋上押えコンクリートの排水溝にコンクリート2次製品を使用。 止め枠等を使用せず、コンクリート2次製品を設置するだけで、押さえコンク リートが打設可能。その後の勾配モルタルも不要となり工期短縮、省人化が 可能。

■写真・イメージ・図面



↑設置完了状況





■特徴・適用条件・注意事項 等

【工期】

・押えコンクリート打設時の型枠になる為、在来工法や乾式工法の双方において必要となる溝部止め枠の取付・撤去が不要。

特徴

効果

•溝内のモルタル施工が不要。

【コスト】

- ・止め枠の撤去が不要な為、解体時の角欠けがなく補修費削減が可能。
- ・溝内のモルタル施工が不要な為、勾配モルタル費削減が可能。

メリット

・在来工法では溝モルタル部分のクラック防止で目地を入れてシール打設するがPCaではジョイントの目地押えだけで完了の為、コスト削減が可能。 【品質】

・クラックの心配がない。発生したとしても目地部分のみ

適用条件 │ 屋上アスファルト防水保護コンクリートに使用

特許

なし

メーカー等

ダイテック株式会社

備考

■検索用分類

検討時期	部位•種別	着眼点	効果	職種
■ Phase0(営業)	□ 仮設	■ 繰り返し作業	☑ Q	■ 鳶工
■ Phase1(企画)	■ 基礎	✓ 工程数削減	☑ C	□ 土工
✓ Phase2(基本設計)	✓ 躯体(RC)	□ 標準化・モジュール化	✓ D	□ 鉄筋工
✓ Phase3(実施設計)	✓ 躯体(S)	□ 省人化	S	□ 型枠工
✓ Phase4(施工準備)	☑ 外装	■ IT化·高効率化	□ E	☑ 左官工
☑ Phase5(施工)	□ 内装	✓ 工場製品化・PCa化		□ 鍛冶工
	□ 外構	□ ユニット化		□ 金属工
	□ 設備	■ 機械化		□ 内装工
	□ IT化	□ 多能工化・共業化		□ 電工
	□ 特殊構工法	■ VE•設計変更		□ 配管工